

## 授業科目

## 疫学の基礎と応用

担当教員名 山本 正治	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## 授業の概要

保健医療福祉分野で将来高度専門職業人として活躍する方にとって、疫学知識は必要不可欠なものである。現実の社会において日々マスコミ報道される問題を正しく理解し、評価を行うためにも、各自の職場で起こっている問題の解決を図るためにも、また各自が日頃抱いている“学問的好奇心”を解決するためにも、疫学的知識が必要となる。

## 授業の目的

現実の社会で起きている諸問題に対する理解、評価、実践、解決を図るために必要な疫学的知識と技術の基礎と応用について体験学習することを目的とする。

## 学習目標

1. 保健医療福祉関連のマスコミ報道を正しく理解し、評価できる。
2. 公開されている報告書、学術論文(和文・英文)の内容を理解し、正當に評価し、社会や対象者に対してコメントできる。
3. 各自の職場で起きている問題について、疫学的知識と技術を用いて解決できる。
4. 日頃心に抱いている“学問的好奇心”を疫学的知識と技術を用いて解決できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題
1	疫学の基礎の基礎－疫学の定義、疫学とEBM
2	疫学の歴史的エピソード
3	疫学指標の分類
4	疫学研究の分類
5	症例－対照研究、コホート研究
6	バイアス、因果関係
7	疫学の基礎－暴露効果の指標
8	リスク差とリスク比
9	オッズ比
10	疫学の応用－John Snowのコレラアウトブレイクの事例
11	食中毒の事例
12	各自の問題解決演習（1）
13	同上（2）
14	同上（3）
15	同上（4）

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	市民のための疫学入門		緑風出版	2007年	2,400円＋税	
その他の資料						

## 評価方法

提出レポートで評価する。

## 履修上の留意点

統計学を殆ど用いない「疫学」講義・演習であるため、アカデミックに欠けるくらいがあるが、“市民感覚で”、疫学が分かった錯覚に陥る工夫をしてあるので、“学問上の好奇心旺盛な方”にお勧めする。また将来大学院博士課程で、調査研究の計画立案、論文執筆を希望している方々にも、疫学調査研究の基本考え方を学ぶ機会となるので、ぜひお勧めしたい。

## オフィスアワー・連絡先

この科目についての問い合わせ先：kyoumu@nuhw.ac.jp